



熊本地震復興支援として NPO 法人ボランティア・アーキテクト・ネットワークへの寄付について

ハリマ化成グループ株式会社

本年4月に発生しました熊本地震におきまして被災されました皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を実現するために、当社は特定非営利法人ボランティア・アーキテクト・ネットワーク（2013年3月設立、代表者 坂茂）に対し、2016年9月1日付にて500万円の寄付を行いました事をご報告します。

熊本地震により多くの被災者の方々が未だ避難生活を余儀なくされておりますが、現在、可及的速やかに仮設住宅を建設することが喫緊の課題であり、行政を中心に懸命な努力をされております。

こうした状況のもと、阪神淡路大震災を契機に、国内外の大規模災害の避難所、被災者の仮設住宅、集会所などに紙管を利用して災害復興時に住環境の改善等に取り組んでいる建築士 坂茂（ばん しげる）氏および同氏が代表を務める特定非営利法人ボランティア・アーキテクト・ネットワークでは、全国から広く寄付を募り、熊本県産の木材を使用した椅子、テーブル、家具などを仮設住宅に導入設置して長期間の仮設住宅での生活を余儀なくされる被災者に少しでも健康的で温かみのある生活環境を提供する活動を進めています。当社もこの活動に賛同し、同法人への寄付を通じて被災地支援の一助となることを願うものです。

当社が季刊発行する技術情報誌「ハリマクオタリー109号（2011年10月発行）」で、坂茂氏が東日本大震災後に宮城県女川町に建設した仮設住宅など、被災者支援の取り組みを取材し紹介しています。ニュージーランドのカンタベリー地震（2011年2月）では、被災地に紙管を活用したクライストチャーチ大聖堂を建築するなど、その活動は世界的に評価されており、2014年建築界のノーベル賞といわれているプリツカー賞、2015年度JIA日本建築大賞を受賞されています。熊本地震においては、同氏らが中心となり既に37ヶ所の避難所に約2,000ユニットの避難所用間仕切りを設置されており、現在仮設住宅の環境改善への取り組みを進めておられます。

以上

本件に関するお問い合わせ先
ハリマ化成グループ株式会社 広報グループ
TEL : 06-6201-2477
WEB によるお問い合わせ先
URL <https://www.harima.co.jp/inquiry.php>

坂 茂（ばん しげる、1957年8月5日生）

日本建築家協会名誉会員。ニューヨーク州登録建築士。南カリフォルニア建築大学（SCI-ARC, ロサンゼルス）、クーパー・ユニオン建築学部（ニューヨーク）で建築を学び、紙管、コンテナなどを利用した建築や災害支援活動で知られる。1996年吉岡賞、1997年JIA新人賞、2009年日本建築学会賞作品賞、2014年には建築分野の国際的な賞であるプリツカー賞受賞、2016年日本建築大賞受賞。



略 歴

- 1984年 クーパー・ユニオン卒業
Bachelor of Architecture 取得
- 1995年 カトリックたかとり教会仮設集会所
「ペーパードームたかとり」（紙の教会）建設
- 1995～1999年 国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）コンサルタント
- 2001～2009年 慶應義塾大学環境情報学部教授
- 2004年 AIA アメリカ建築家協会 名誉会員
- 2007年 カトリックたかとり教会
- 2010年 ハーバード大学 GSD 客員教授
コーネル大学客員教授
- 2010年 ポンピドゥー・センター・メス設計、完成
- 2011年 女川町3階建てコンテナ仮設住宅
- 2011年～京都造形芸術大学芸術学部環境デザイン学科教授
- 2013年 クライストチャーチ大聖堂（ニュージーランド）
- 2014年 大分県立美術館
- 2015年 女川駅
- 2015年～慶應義塾大学環境情報学部特別招聘教授



ペーパードームたかとり(1995)



ポンピドゥー・センター・メス (2010)



クライストチャーチ大聖堂 (2013)

受賞歴

- 2005年 王立英国建築家協会国際研究奨励賞
- 2006年 王立カナダ建築家協会 名誉会員
- 2012年 毎日芸術賞
- 2012年 芸術選奨文部科学大臣賞美術部門受賞
- 2014年 プリツカー賞
- 2015年 朝日賞
- 2016年 2015年度 JIA 日本建築大賞



紙管による教会だが今や町のシンボルに

坂茂建築設計+NPO 法人ボランティア・アーキテクト・ネットワークについて

坂茂建築設計および NPO 法人ボランティア・アーキテクト・ネットワークでは、2016 年 4 月に発生した熊本地震後の支援活動を行っています。避難所でのプライバシー確保のために紙管と布を利用したパーティションは、2011 年に発生した東日本大震災では 4 ヶ月にわたり 50 ヶ所の避難所に対して 1,800 ユニットの避難所用間仕切りの提供を行いました。今回の熊本地震では 6 月末時点で、37 所の避難所に対して約 2,000 ユニットの避難所用間仕切りを提供しています。



熊本地震における避難所用間仕切りの設置例

熊本県産間伐材を利用した家財の無償提供

熊本地震におきましては政府、熊本県が、一般社団法人プレハブ建築協会を中心に仮設住宅が発注され、本格的な仮設住宅建設が始まりました。しかし、仮設住宅の住環境が好ましくないという問題があり、東日本大震災後の経験からプレハブ住宅においても住環境の改善策が図られておりますが、坂茂建築設計および NPO 法人ボランティア・アーキテクト・ネットワークでは、これまでの経験を活かし、住環境の支援活動の一環として、間伐材を利用した家財の無償提供を仮設住宅居住者に対して行う計画です。



東北地震における家具を提供した例（テーブル、収納棚）



間伐材を利用したテーブルの例（東日本大震災で提供）

使用素材は、小国地域（阿蘇周辺）での材木業が盛んであり、この地域と連携して間伐材などを家具などにして届けることで、少しでも快適な住環境になるように取り組むとともに、経費を地域に還元する計画です。

熊本 木質系仮設住宅／集会所案

ボランティア・アーキテクト・ネットワーク＋慶應大学 SFC 坂茂研究室＋熊本大学では、熊本地震の被災者に対して木質型プレファブ仮設住宅と集会所の計画を開始しました。

9月1日には仮設住宅が竣工し引き渡しが行われました。今後はコミュニティ・スペースの計画が進められる予定です。

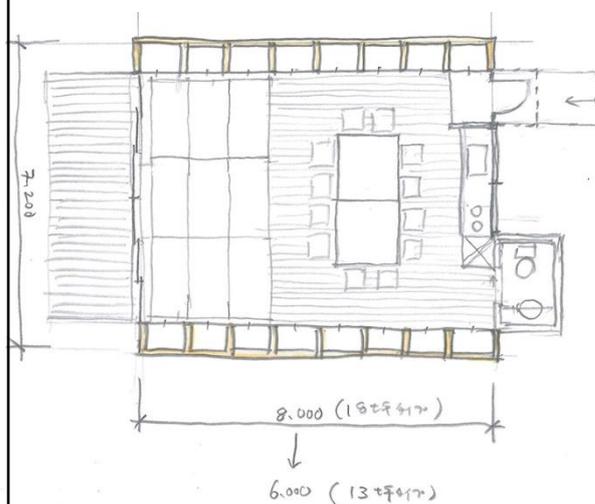
仮設住宅イメージ図案



モックアップ組み立て風景



仮設集会所案



特定非営利法人ボランティア・アーキテクト・ネットワーク概要

| | |
|------------|--|
| 団体名称 | ボランティア・アーキテクト・ネットワーク |
| 所轄庁 | 東京都 |
| 主たる事務所の所在地 | 東京都世田谷区松原五丁目2番4号 |
| 代表者氏名 | 坂 茂 |
| 法人設立認証年月日 | 2013年03月21日 |
| 定款に記載された目的 | この法人は、国内外の大規模災害発生時において、被災者への住環境に対する支援事業を行うほか、防災訓練を通じた防災・減災意識の啓発に関する事業を行い、震災被害からの円滑な復旧・復興、及び災害時に発生し得る被害の最少化に寄与することを目的とする。 |

1995年、阪神・淡路大震災を機に坂茂がNGO ボランティア・アーキテクト・ネットワーク（VAN）を設立。世界で発生する災害支援活動の母体として運営してまいりましたが、2013年に活動基盤の充実を目的に特定非営利法人ボランティア・アーキテクト・ネットワークを発足しました。

現在、坂茂の活動に賛同いただける個人の寄付が中心ですが、企業様の理解を得て活動規模、範囲も広がっています。また、活動への直接参加は学生を中心にボランティアによる支援も全国からいただいています。

熊本地震における主な協力企業

大和リース株式会社/Swiss Re Foundation/日本化工機材株式会社/NUNO CORPORATION/小松精練株式会社/株式会社良品計画/MARUITEX/帝人フロンティア株式会社/有限会社アゲイン/小林当織物株式会社/株式会社吉村仙松商店/渡嘉毛織株式会社/株式会社カツクラ/桐生ボランティア協議会/AIG ジャパン・ホールディングス(株)/ケイター・テクシーノ他

以上